

# I 令和5年度市税等収納率向上対策取組状況について(報告)

## 1 はじめに

令和5年度の市税等収納率向上対策については、令和5年7月31日の本部会議で決定した基本方針に基づき、収納率向上対策に取り組んだ。

### 令和5年度収納率向上のための基本方針

- (1) 市税等の滞納解消及び自主財源の早期確保
- (2) 事務等の随時見直しによる収納や徴収環境の整備
- (3) 滞納整理等に係る具体的な数値目標の設定

## 2 市税等の収納状況

### (1) 市税(一般税)

令和5年度は、現年度分99.39%、滞納繰越分34.00%、合計98.21%を収納率目標として取り組んだ。その結果、現年度分収納率99.43%、滞納繰越分収納率35.30%、現年滞繰合計では98.36%と令和4年度と比較し0.15ポイント上回り、これまでの最高値となった。また、東北県庁所在都市での収納率は、仙台市に次ぎ第2位となっている。

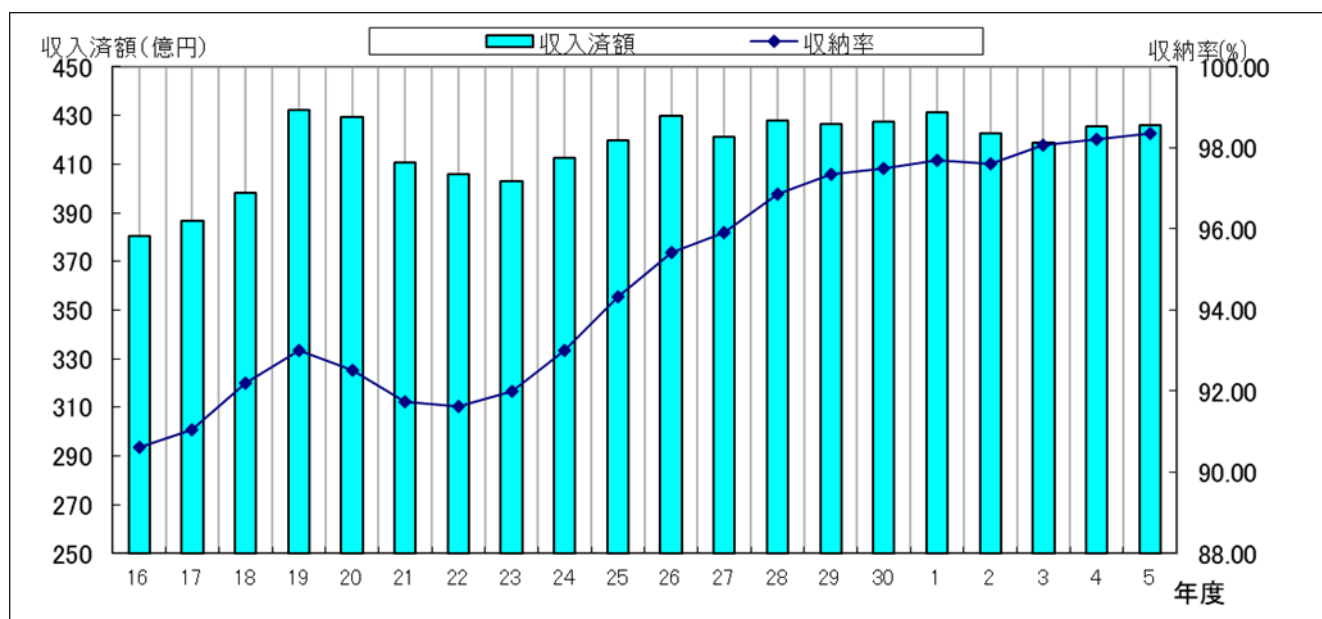
表1 市税収納額(収納率)

※収納率=収納額/調定額

(千円、%)

| 全 体   | 令和5年度      |       | 令和4年度      |       | 増 減    |      |
|-------|------------|-------|------------|-------|--------|------|
|       | 収納額        | 収納率   | 収納額        | 収納率   | 収納額    | 収納率  |
| 現年度分  | 42,354,533 | 99.43 | 42,270,084 | 99.40 | 84,449 | 0.03 |
| 滞納繰越分 | 255,927    | 35.30 | 259,708    | 33.33 | ▲3,781 | 1.97 |
| 合 計   | 42,610,460 | 98.36 | 42,529,792 | 98.21 | 80,668 | 0.15 |

◆図1 収入済額、収納率の推移



収納率が増加した主な要因は、地方税統一QRコードの導入によるキャッシュレス納付及

び全国の金融機関での納付に対応するなど納入環境の多様化により、利便性の向上が図られたこと、また、滞納繰越分について、高額滞納案件を最重視しながらも、滞納額 15～20 万円の案件に重点を置いた滞納整理の推進によるものである。

現年度と滞納繰越分を合わせた調定額は、令和 4 年度と比較し、個人市民税 108,408 千円の増額、法人市民税 348,301 千円の減額、固定資産税・都市計画税 222,680 千円の増額など合計で約 16,620 千円の増額となった。

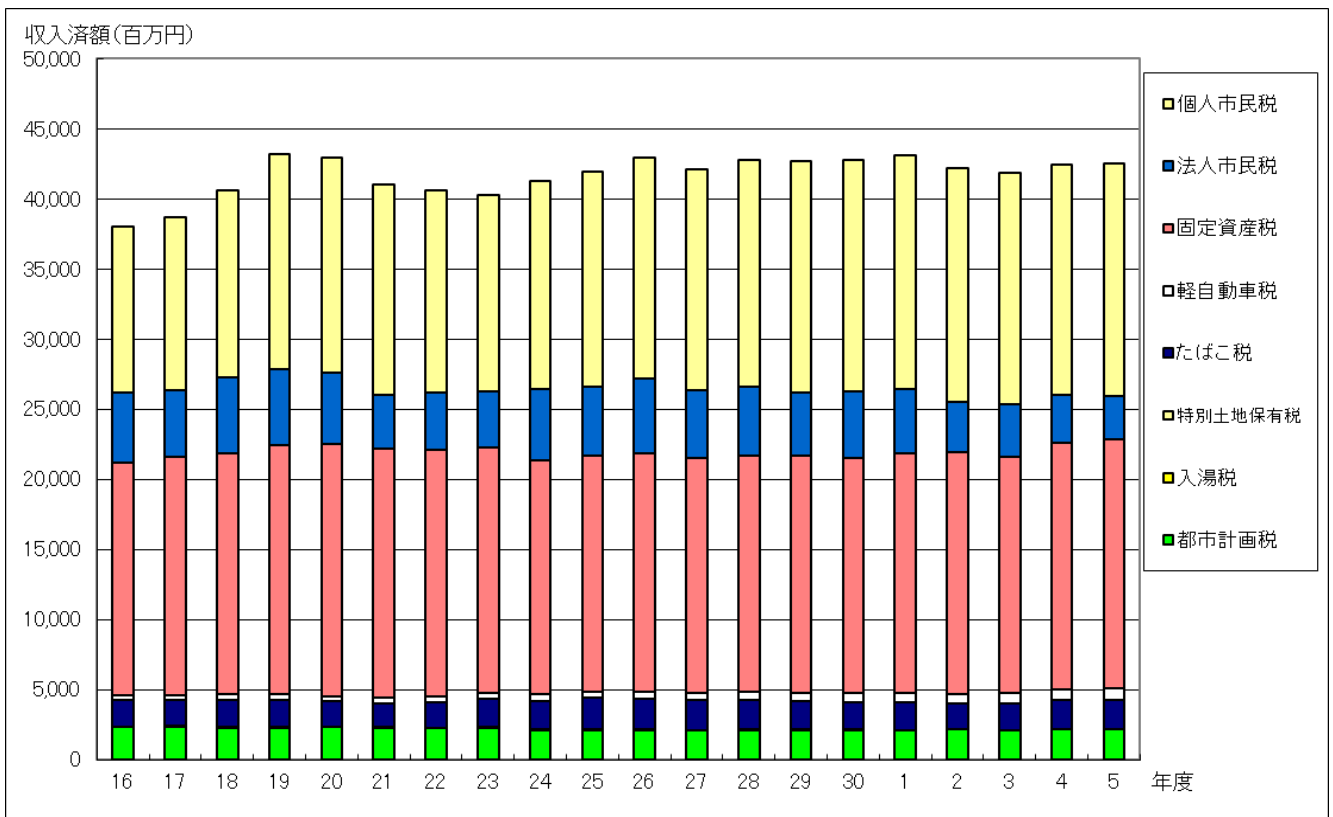
また、収納額の合計は、令和 4 年度と比較し、個人市民税 116,134 千円の増額、法人市民税 342,919 千円の減額、固定資産税・都市計画税 272,028 千円の増額など合計で約 80,668 千円の増額となった。

表 2 税目別収納額、収納率（現年度・滞納繰越分合算）

（千円、％）

| 税 目   | 令和 5 年度    |        | 平成 4 年度    |        | 増 減      |      |
|-------|------------|--------|------------|--------|----------|------|
|       | 収納額        | 収納率    | 収納額        | 収納率    | 収納額      | 収納率  |
| 個人市民税 | 16,577,664 | 98.22  | 16,461,530 | 98.16  | 116,134  | 0.06 |
| 法人市民税 | 3,097,370  | 99.13  | 3,440,289  | 99.07  | ▲342,919 | 0.06 |
| 固定資産税 | 17,817,118 | 98.25  | 17,574,872 | 97.98  | 242,246  | 0.27 |
| 軽自動車税 | 782,022    | 96.75  | 764,673    | 96.49  | 17,349   | 0.26 |
| たばこ税  | 2,061,868  | 100.00 | 2,051,977  | 100.00 | 9,891    | 0.00 |
| 入湯税   | 54,446     | 100.00 | 46,259     | 100.00 | 8,187    | 0.00 |
| 都市計画税 | 2,219,974  | 98.23  | 2,190,192  | 97.96  | 29,782   | 0.27 |
| 合 計   | 42,610,460 | 98.36  | 42,529,792 | 98.21  | 80,668   | 0.15 |

◆図 2 市税税目別収入済額の推移（現年度＋滞納繰越）

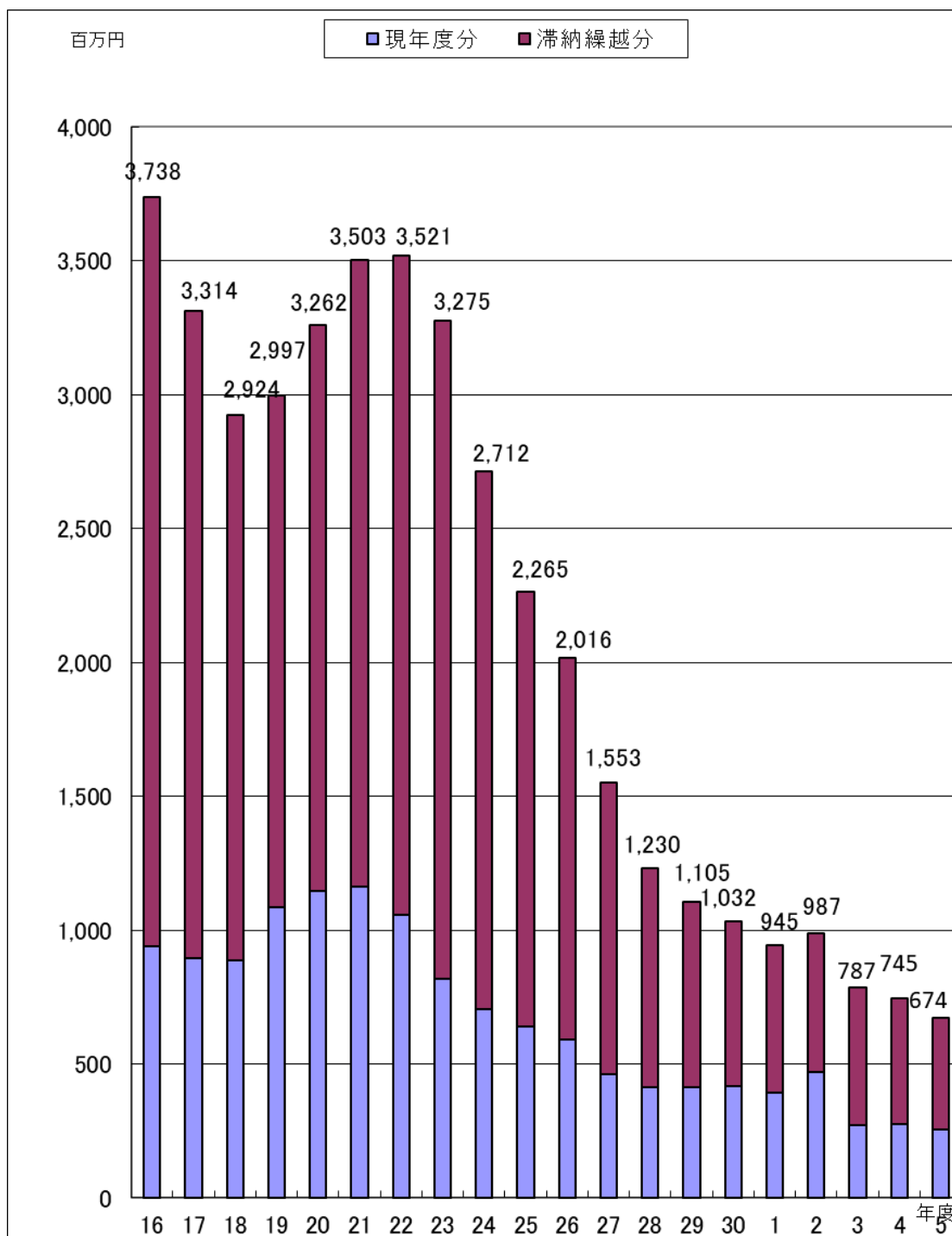


## ○ 令和 6 年度への市税滞納繰越額

令和 5 年度の現年度・滞納繰越分含めた未納額は 712,598 千円となり、不納欠損額等処理

した 673,774 千円が令和 6 年度への滞納繰越額であり、令和 5 年度に比べ 70,765 千円減少した。

◆図 3 滞納繰越額の推移（各年度末）



- |        |                   |            |
|--------|-------------------|------------|
| † 資料 1 | 令和 5 年度市税決算調書     | 別添参考資料 P 1 |
| † 資料 2 | 年度別市税収納率・滞納繰越額の状況 | 別添参考資料 P 2 |
| † 資料 3 | 東北県庁所在都市等の市税収納状況  | 別添参考資料 P 3 |

## (2) 国民健康保険税

令和 5 年度は、現年度分 94.00%、滞納繰越分 32.00%を収納率目標として取り組んだ。その

結果、令和5年度の収納率は、令和4年度と比較して、現年度分では94.27%と0.2ポイントのプラスとなり、過去最高の収納率となった。また、滞納繰越分では28.61%と1.05ポイントのプラス、合計では83.65%と1.20ポイントのプラスとなった。

現年度、滞納繰越分ともに、令和4年度を上回る経緯で推移した。

令和5年度の状況

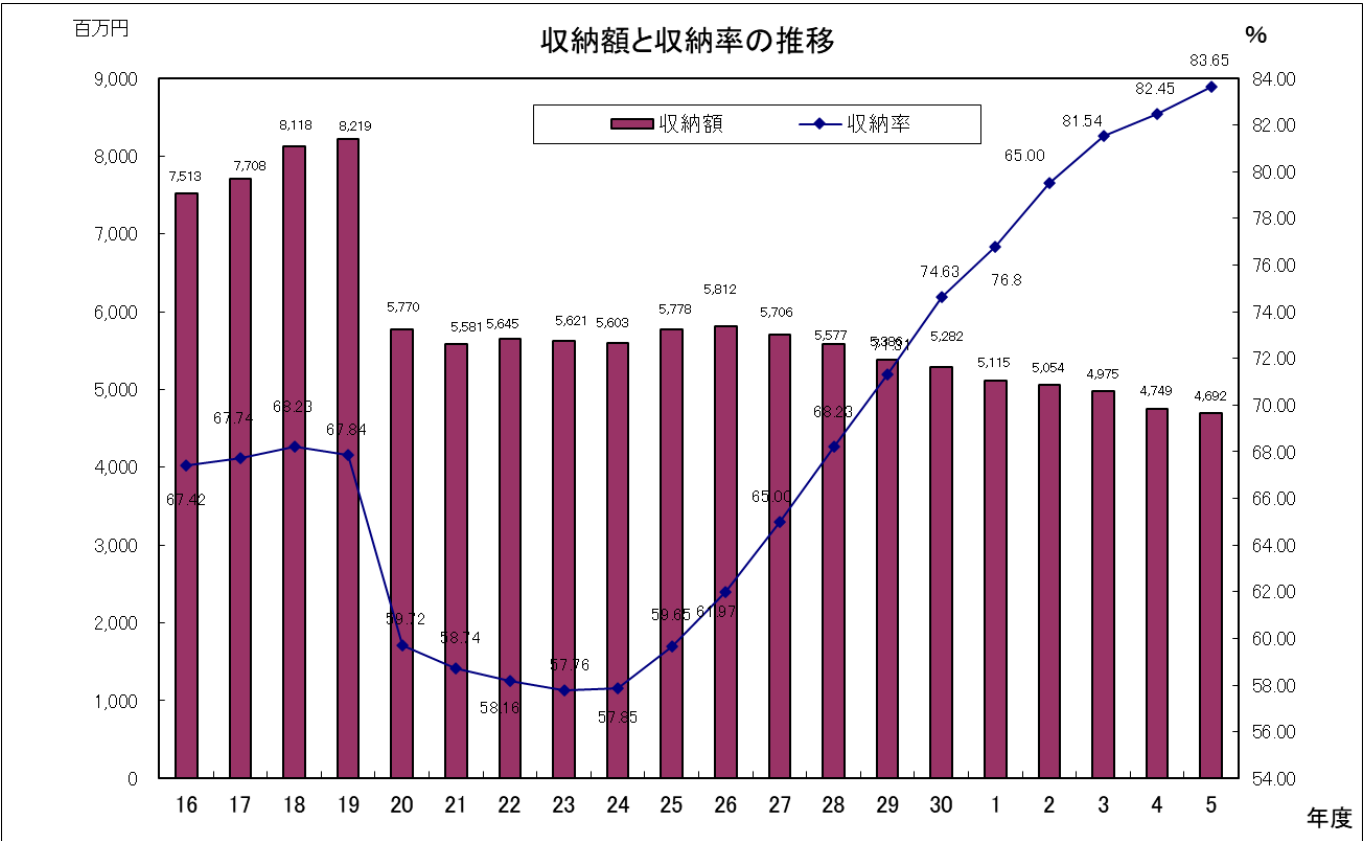
|        |     |             |     |        |
|--------|-----|-------------|-----|--------|
| 現年度課税分 | 収納額 | 4,432,133千円 | 収納率 | 94.27% |
| 滞納繰越分  | 収納額 | 259,606千円   | 収納率 | 28.61% |

|     |     |             |     |        |
|-----|-----|-------------|-----|--------|
| 合 計 | 収納額 | 4,691,739千円 | 収納率 | 83.65% |
|-----|-----|-------------|-----|--------|

表3 国民健康保険税収納率の推移

| 年 度   | 2年度    | 3年度    | 4年度    | 5年度    | 5年度収入未済額  |
|-------|--------|--------|--------|--------|-----------|
| 現 年 度 | 92.88% | 93.84% | 94.07% | 94.27% | 274,390千円 |
| 滞納繰越分 | 31.22% | 29.93% | 27.56% | 28.61% | 570,252千円 |

◆図4 国民健康保険税収納額と収納率の推移



(3) 税外

一般会計の主な税外科目の収納率は表4のとおりである。

また、収入未済額が多額となっている主な科目は、保育所保育料 9,907 千円、観光文化交流館使用料 4,136 千円、住宅使用料 26,603 千円、市有土地貸付料 3,273 千円、児童扶養手当返還金 3,542 千円、生活保護費返還金 299,777 千円、行政代執行費用徴収金収入 4,400 千円である。

表 4 令和 5 年度主な税外科目収納率（収入未済額 2,000 千円以上）

（％）

| 科 目 別             | 5 年度  |       |       | 4 年度  | 前年比    |
|-------------------|-------|-------|-------|-------|--------|
|                   | 現年度分  | 滞納繰越分 | 合計    |       |        |
| 児童福祉施設運営費負担金(保育料) | 99.96 | 29.65 | 96.12 | 96.75 | ▲0.63  |
| 観光文化交流館使用料        | 45.33 | —     | 45.33 | 42.20 | 3.13   |
| 住宅使用料             | 98.82 | 22.61 | 94.82 | 93.92 | 0.90   |
| 市有土地貸付収入          | 99.59 | 85.56 | 97.96 | 87.78 | 10.18  |
| 雑入（児童扶養手当返納金）     | 2.76  | 2.81  | 2.80  | 51.62 | ▲48.82 |
| 雑入（生活保護費返還金）      | 51.34 | 3.92  | 19.40 | 19.36 | 0.04   |

## ○ 保育料

令和 5 年度は、現年度分 99.94％、滞納繰越分 28.95％以上を収納率目標として取り組んだ。その結果、5 年度の収納率は、4 年度と比較して、現年度分では 99.96％と 0.04 ポイントのプラス、滞納繰越分では 29.65％と 3.4 ポイントのプラス、合計では 96.12％と 0.63 ポイントのマイナスとなった。（合計でマイナスとなったのは、収納率の高い現年度の調定額が大幅に減少したことによるものである。）5 年度末の現年度分と滞納繰越分の収入未済額の合計は 9,933 千円となり、4 年度と比較し 4,045 千円減少した。

表 5 公私立別保育料収納率の推移

| 年 度     | 3 年度   |       | 4 年度   |       | 5 年度   |       | 5 年度<br>収入未済額 |
|---------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|---------------|
| 項 目     | 収納率（％） |       | 収納率（％） |       | 収納率（％） |       |               |
| 公立（現年度） | 10 園   | 99.94 | 9 園    | 99.92 | 8 園    | 99.96 | 2 千円          |
| 私立（現年度） | 46 園   |       | 45 園   |       | 41 園   |       | 98 千円         |
| 計（現年度）  | 56 園   |       | 54 園   |       | 49 園   |       | 100 千円        |
| 滞納繰越分   |        | 25.19 |        | 26.25 |        | 29.65 | 9,833 千円      |
| 合 計     |        | 96.05 |        | 96.75 |        | 96.12 | 9,933 千円      |

（園数は盛岡市内の保育園数であり、収納率・未納額には他市町村入所分を含む。）

## ○ 住宅使用料

令和 5 年度は、現年度分 98.00％、滞納繰越分 16.00％以上を収納率目標として取り組みを行った。その結果、収納率は令和 4 年度と比較して、現年度分では 98.82％と 0.08 ポイントのプラス、滞納繰越分では 22.61％と 7.37 ポイントのプラス、合計では 94.82％と 0.90 ポイントのプラスとなった。また、現年度分と滞納繰越分の合計の収入未済額は 26,603 千円となり、令和 4 年度と比較し 2,563 千円減少している。

平成 18 年度に収納業務が市営住宅管理担当課へ移管され 18 年になるが、令和 5 年度の現年度分及び滞納繰越分の収納率はいずれも令和 5 年度に掲げた目標を上回り、高い水準にある。

これらは、民事調停の実施や、滞納発生の初期段階で催告し、注意喚起に努めたこと、事情等を聴き分割納付相談に応じるなど、状況に応じ細やかに取り組んだことの成果が現われたものと考えられる。

表6 住宅使用料収納率の推移

(%)

| 年 度   | 元年度   | 2 年度  | 3 年度  | 4 年度  | 5 年度  | 5 年度収入未済額 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|
| 現 年 度 | 98.54 | 98.94 | 98.99 | 98.74 | 98.82 | 6,235 千円  |
| 滞納繰越分 | 17.51 | 15.90 | 15.35 | 15.24 | 22.61 | 20,368 千円 |
| 合 計   | 92.24 | 92.82 | 93.42 | 93.92 | 94.82 | 26,603 千円 |

表7 住宅使用料滞納者数及び法的措置状況

| 年度 | 滞納者数 | 法的措置件数 |    |      |    |
|----|------|--------|----|------|----|
|    |      | 調定     | 訴訟 | 強制執行 | 合計 |
| 元  | 226  | 2      | 1  | 1    | 4  |
| 2  | 201  | 4      | 0  | 0    | 4  |
| 3  | 185  | 3      | 1  | 0    | 4  |
| 4  | 166  | 0      | 0  | 0    | 0  |
| 5  | 155  | 2      | 0  | 0    | 2  |

† 資料4 令和5年度一般会計税外収納状況（別添参考資料）P4～5

### 3 各対策項目の状況及び収納状況

#### (1) 市税等の滞納解消及び自主財源の早期確保

ア 休日納付相談は、納税課で原則毎月第四日曜日に実施、夜間納付相談は、納税課で第二週の木曜日に、玉山総合事務所税務住民課では毎週木曜日に実施し、納税者の利便を図った。令和5年度の納付・相談件数は合計で198件（本庁162件、玉山36件）納付額は合計で5,026千円（本庁3,814千円、玉山1,212千円）となった。

#### イ 適宜適切な滞納整理と納期内納付の推進

(ア) 悪質、高額滞納者への滞納整理の強化として差押及び公売等の換価処分を積極的に実施したほか、滞納額15～20万円の案件に重点を置いた滞納整理を推進した。公売の落札実績は、土地・建物の不動産が2件で6,201千円、そのうち滞納税金に920千円を充当した。

また、差押処分による取立金額は本税、督促手数料、延滞金を合せて総額223,038千円となった。

なお、県広域振興局県税部OBを徴収専門指導員、銀行職員OBを滞納整理門員として任用し、搜索、差押、換価等の滞納処分や滞納事案への対応方法等、債権管理や有価証券等について助言・指導を受けながら、高額・困難案件の滞納整理の推進に努めた。

表8 公売の売却結果

|     | 公売方法<br>(インターネット・現地) | 実施方法<br>(入札・せり売り) | 財産区分<br>(不動産・動産・株券) | 物件区分  | 売却価格(千円) |
|-----|----------------------|-------------------|---------------------|-------|----------|
| 1   | インターネット              | 入札                | 不動産                 | 土地・建物 | 5,578    |
| 2   | インターネット              | 入札                | 不動産                 | 土地・建物 | 623      |
| 合 計 |                      |                   |                     |       | 6,201    |

(イ) 納期内納付の推進のため、口座振替の案内チラシを作成し、銀行窓口や税担当課に配

架するとともに、市窓口で納付を受ける際に口座振替の勧奨を行った。

ウ 岩手県と県内 33 市町村による共同徴収組織として設立されている「岩手県地方税特別滞納整理機構」に職員 1 名を引き続き派遣し、滞納処分の技術を習得するとともに、機構を活用した徴税を実施した。令和 5 年度の機構への移管件数は 40 件、徴収本税は 9,827 千円であった。

エ 年間催告計画を策定し、計画的な滞納整理を行った。

○滞納整理強化月間・特別徴収期間

- ・少額滞納者整理期間（ボーナス納付催告） 6 月、11 月
- ・搜索期間 5 月～3 月
- ・現年度重点整理期間（出納閉鎖に向けた催告） 4 月～5 月

○年間催告実施結果

| 催告等区分      | 実施曜日等          | 実施日数 |
|------------|----------------|------|
| 夜間納付相談     | 第 2 週の木曜等      | 18 日 |
| 休日納付相談     | 原則第 4 日曜日      | 12 日 |
| 実態調査等（日帰り） | 平日に市内外を対象に随時実施 |      |

オ 納税思想の普及高揚を図る事業として、次代を担う中学生の「税についての作文」を募集した結果、市内中学校 7 校から 100 編の応募があり、うち優秀作 4 編を市長出席のもと表彰した。

表 9 市税の口座振替利用率

(%)

| 年 度   | 3 年度  |       | 4 年度  |       | 5 年度  |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 項 目   | 件数比   | 課税額比  | 件数比   | 課税額比  | 件数比   | 課税額比  |
| 市県民税  | 19.74 | 31.85 | 18.97 | 31.21 | 18.63 | 30.27 |
| 固定都計税 | 45.36 | 39.24 | 44.59 | 41.60 | 44.22 | 42.34 |
| 軽自動車税 | 7.95  | 6.35  | 7.89  | 6.29  | 7.93  | 6.28  |
| 国保税   | 35.44 | 41.90 | 29.22 | 41.78 | 28.32 | 40.98 |

表 10 主な税外の口座振替利用率

(%)

| 年 度   | 3 年度  |       | 4 年度  |        | 5 年度  |       |
|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
| 項 目   | 件数比   | 賦課額比  | 件数比   | 賦課額比   | 件数比   | 賦課額比  |
| 保育料   | 79.61 | 98.44 | 81.32 | 101.82 | 76.32 | 94.79 |
| 住宅使用料 | 68.43 | 70.05 | 67.87 | 69.68  | 68.83 | 70.14 |
| 住宅駐車場 | 71.25 | 72.19 | 71.34 | 72.11  | 71.65 | 72.23 |

## (2) 事務等の随時見直しによる収納や徴収環境の整備

ア 令和 5 年 4 月から運用を開始した、地方税統一 QR コードによるクレジットカード納付及びスマホ決済アプリ納付並びに全国の金融機関での納付に対応し、納税者の利便性の向上を図った。

イ 令和 5 年度のコンビニエンスストア収納（三税）においては、215 千件、本税分 3,699,541 千円の納付があり、収納額に占める納付割合は約 13.78 %となった。うち納期内納付が 166

千件、2,779,472千円(本税分)であり、早期収納につながっている。

また、コンビニ収納が可能な9科目について東北6県内の郵便局での納付書納付を可能とし、納税者の利便性の向上を図っている。

ウ 納税推進センター（コールセンター）において、税外の後期高齢者医療保険料、介護保険料も市税等と同様に取り扱い、現年度課税分の早期収納を図った。

エ 収納消込業務の民間委託を継続実施し、効率化による経費削減を図った。

また、徴収事務の効率化のため、高額、長期累積、時効完成直前など滞納事案の優先順位を定めるとともに、新規未納者への早期納付相談を実施し、納付計画の作成指導を行った。

表 11 スマホ決済アプリ等取扱実績（三税）

| 年 度        | 3 年度  |         | 4 年度   |         | 5 年度   |         |
|------------|-------|---------|--------|---------|--------|---------|
| 項 目        | 件 数   | 金額（千円）  | 件 数    | 金額（千円）  | 件 数    | 金額（千円）  |
| スマホ決済アプリ納付 | 8,144 | 173,848 | 14,029 | 300,242 | 19,303 | 422,311 |
| クレジット納付    | 3,853 | 158,542 | 4,874  | 224,360 | 7,791  | 326,925 |

### (3) 滞納整理等に係る具体的な数値目標の設定

ア 令和5年度市税収納率 (%)

|       | 目 標   | 実 績   | 増 減  |
|-------|-------|-------|------|
| 現年度分  | 99.39 | 99.43 | 0.04 |
| 滞納繰越分 | 34.00 | 35.30 | 1.30 |
| 合 計   | 98.21 | 98.36 | 0.15 |

イ 徴収担当職員の行動量の目安として、年間の差押件数を定め、収納確保に向けた努力と責任を明確化した。

差押件数の目標値を1,200件(一人60件以上)として取り組んだ結果、差押処分件数は1,406件、達成率は117.17%となった。令和4年度と比較して612件増加したが、少額滞納者案件に重点を置いた滞納整理の推進によるものと考えられる。

表 12 差押の件数、達成率

|    | 差 押 件 数 |       |       |    |       | 目 標   | 達成率     |
|----|---------|-------|-------|----|-------|-------|---------|
|    | 不動産     | 無体財産権 | 債権    | 動産 | 計     |       |         |
| 合計 | 168     | 10    | 1,212 | 16 | 1,406 | 1,200 | 117.17% |

表 13 差押債権の内訳

| 債 権 種 別   | 債 権 の 名 称               | 件 数   |
|-----------|-------------------------|-------|
| 預貯金等      | 普通預金、定期預金、貯蓄預金、郵便貯金等    | 280   |
| 給料等       | 給料、年金等                  | 611   |
| 国税・地方税還付金 | 所得税還付金、自動車税還付金等         | 108   |
| その他の債権    | 生命保険、売掛金、建物賃貸借料、工事請負代金等 | 213   |
| 合 計       |                         | 1,212 |

表 14 差押処分動向

| 期 間                 | 不動産 | 無体財産権 | 債 権    | 動産 | 計      | 差押税額(千円)    |
|---------------------|-----|-------|--------|----|--------|-------------|
| H26. 6. 1～27. 5. 31 | 240 | 4     | 1, 035 | 11 | 1, 290 | 1, 706, 851 |
| H27. 6. 1～28. 5. 31 | 313 | 9     | 884    | 7  | 1, 213 | 1, 090, 197 |
| H28. 4. 1～29. 3. 31 | 266 | 6     | 1, 295 | 13 | 1, 580 | 960, 834    |
| H29. 4. 1～30. 3. 31 | 201 | 5     | 1, 394 | 16 | 1, 616 | 912, 068    |
| H30. 4. 1～31. 3. 31 | 149 | 2     | 1, 464 | 21 | 1, 636 | 795, 781    |
| H31. 4. 1～R2. 3. 31 | 208 | 0     | 1, 626 | 46 | 1, 880 | 921, 575    |
| R2. 4. 1～ 3. 3. 31  | 107 | 3     | 1, 293 | 14 | 1, 417 | 734, 434    |
| R3. 4. 1～ 4. 3. 31  | 109 | 2     | 1, 023 | 4  | 1, 138 | 519, 232    |
| R4. 4. 1～ 5. 3. 31  | 70  | 0     | 721    | 3  | 794    | 380, 462    |
| R5. 4. 1～ 6. 3. 31  | 168 | 10    | 1, 212 | 16 | 1, 406 | 438, 501    |
| 増減 (R5-R4)          | 98  | 10    | 491    | 13 | 612    | 58, 039     |

#### (4) その他取組状況

ア 厳しい収納状況について全職員が認識し、市民に対し歳入確保に取り組む姿勢を周知するため、市税等の収納状況について6月末は庁議、4月、10月、2月の各月末分は全庁掲示板において、前月末の収納状況を定期的に報告するなど情報の共有化を図った。

イ 保育料の催告については、公立保育園長による督促状の手渡しを継続した他、相談呼出・電話や文書による催告を随時実施した。また、保育料の納付方法を原則口座振替とするよう加入促進に努めるとともに、平成27年度から開始したコンビニエンスストア収納を継続し納付機会の拡大に努めた。

ウ 住宅使用料の催告については、催告書の送付、電話催告、訪問催告等を実施するとともに、会計年度職員を配置して催告業務の推進を図った。また、悪質・長期の滞納者に対しては法的措置を計画的に実施するとともに、新規入居者及び既存入居滞納者への啓発を行い口座振替の加入促進を図った。